稲作情報

(幼穂形成期～登熟期前半の管理)

令和7年度 第3号

令和7年7月15日発行

福島県喜多方農業普及所、JA会津よつば

喜多方市、北塩原村、西会津町

高温時は、生育に合わせた適切な水管理と肥培管理が重要！

高温時における管理のポイント

- 1 水管理：中干し後は間断かんがい～出穂前後は湛水管理～出穂後は飽水管理
- 2 追肥：葉色低下時のつなぎ肥、高温登熟時の実肥(出穂前)
- 3 斑点米カメムシ対策：畦畔の草刈りは出穂10日前まで！

1ヶ月予報

- ・前半は気温がかなり高い状態が続く見込みで、平年に比べ曇りや雨の日が少ないでしょう。
- ・平均気温は高い確率80%、降水量は少ない確率50%、日照時間は多い確率60%です。

仙台管区气象台(7月3日発表)

生育状況

水稻作柄解析試験生育調査結果(会津地域研究所)(7/1現在)

※移植日5/20 栽植本数:20.8株/m²

品種	年次	草丈 (cm)	莖数 (本/m ²)	葉齢 (葉)	葉色 (SPAD値)
コシヒカリ	本年	67.4	774	10.5	37.5
	平年	58.7	721	10.3	39.9
	平年比	115%	107%	0.2	-2.4
ひとめぼれ	本年	62.3	768	10.2	41.2
	平年	55.7	736	10.3	42.5
	平年比	112%	104%	-0.1	-1.3
天のつぶ	本年	66.1	720	9.9	41.2
	平年	57.4	651	9.8	43.9
	平年比	115%	111%	0.1	-2.7

水管理

- ・各品種とも幼穂形成期に入っていますので、間断かんがいを行いましょ。
- ・穂ばらみ期(出穂直前)から出穂期(開花)は、水が必要な時期なので、湛水管理を行います。
- ・出穂後の登熟期間は、間断かんがいで根の活力維持を図るとともに、出穂30日後を目安に落水しましょ。
- ・なお、登熟期前半(出穂後20日程度)に高温が続く場合は、飽水管理(ひたひた水状態)を行い地温や水温の上昇を抑制し、根の活力維持を図りましょ。

図 飽水状態の水管理

肥 培 管 理

「主な品種の出穂期(目安)」

- ・ 穂肥は、生育状況や葉色に応じて時期や量を調整してください。通常、コシヒカリは出穂15日前頃、その他の品種は出穂20～25日前頃が適期となります。また、基肥一発肥料でも、葉色低下時は追肥(つなぎ肥)が必要となります。
- ・ なお、高温が続き7月下旬に葉色が低下(SPAD値32以下)した場合は、出穂前までにチッソ成分で1kg/10a以内を目安に追肥(実肥)を行い、品質の低下を軽減しましょう。判断に迷う場合は、お問い合わせください。

	(品種)	(出穂日)
平坦部	ひとめぼれ	7月31日
平坦部	天のつぶ	8月3日
平坦部	コシヒカリ	8月8日
山間部	里山のつぶ	8月7日

病 害 虫 対 策

(1) 斑点米カメムシ類の防除

- ・ 畦畔の草刈りは、出穂10日前までに行いましょう。それ以降の草刈りは、カメムシ類を水田内に追い込むこととなりますので、8月末頃まで草刈りを控えましょう。
- ・ 粒剤(水面施用剤)による防除は、穂揃い期～乳熟期(出穂5～10日後)に湛水状態で散布してください。
- ・ 粉剤や液剤による防除は、乳熟期(出穂7～10日後)と、その7日後の2回防除を基本に行いましょう。
- ・ 天のつぶ等、割れ粃の発生しやすい品種は、加害されやすいので注意しましょう。

(2) いもち病防除

- ・ 葉いもちが確認されたら、早急に粉剤等で防除しましょう。
- ・ 粒剤による穂いもち防除は、出穂前に遅れないで散布しましょう。
- ・ 福島県病虫害防除所では、いもち病の感染好適日をHPに掲載していますので参考にしてください。

「穂いもち防除薬剤の例」

(薬剤名)	(使用時期)
コラトップジャンボP	出穂30日前～5日前まで
コラトップ粒剤5	出穂30日前～5日前まで
フジワン粒剤	出穂10～30日前(但し、収穫30日前まで)
ブラシン粉剤DL	収穫7日前まで

「福島県ブラスタム」

適 期 刈 取

- ・ 高温が続くと登熟が早く進みますので、コンバインや乾燥機等の整備や点検は、早めに行っておきましょう。

※ 熱中症に注意!! 暑い時間帯の農作業を避け、こまめに水分補給をしましょう。農薬は、使用回数や使用量等に留意し、ラベルをよく確認して使用しましょう。水は貴重な資源です。用水のかけ流しは控えましょう。

★ 本情報の内容や米づくりに関する問い合わせ・相談はこちらへどうぞ

会津農林事務所喜多方農業普及所

TEL 0241-24-5745

J A会津よつば 喜多方営農経済センター営農振興課

TEL 0241-21-1801